

# あしっ 育成だより 3

立教 180 年 7 月 23 日発行  
編集 / 芦津大教会育成部

## 特集 ①親元で育てる

## ②教会長子弟育成者研修会 (各直属開催)



### 《親のことば》

## 人生が変わる「後継者講習会」に

私は今回の講習会で、私と同じように「陽気ぐらしの実践」、人に喜びを与えていくことを学び、実践していける人がたくさん出てきてほしいと思うのであります。「この講習会があったから、私の人生は変わった」という人が出てくるような、“人生が変わる講習会”にしていきたいと、本気で思っております。20 年、30 年先のお道を考えたときに、私たち道の後継者がいまから自分を変えていく努力をすることが、何よりも大切だと思います。

(立教 180 年「後継者講習会推進大会」における

後継者講習会実行委員長・中山大亮様ご挨拶より)



# おちばで育つ喜び

おちばには、若者に限らず、あらゆる人に対するさまざまな「成人の場」があります。おちばで育てていただく喜び、ありがたさ。人材育成をお促しくださるこの旬、おちばにおける育成の場を活用して、多くの方を「教会になくてはならない人」へと育てよう。

## 子弟は管内の学校へ進学を

若い人に道を伝えていくために、子弟に「親里管内の学校への進学」を勧めていただきたいと思います。

現在、おちばの高校は天理高校（1部・2部）、天理教校学園高校とがあり、卒業後は天理大学、天理医療大学、天理教校専修科などの教育機関があります。

管内の学校で学ぶ一番の意義は、「親神様・教祖のおられるおちばで生活すること」。それによって、おちばは行く所ではなく、「帰る所＝故郷」という実感を得ることができます。

また、系統や地域を超えて、お道の信仰を語り合える同年代の仲間ができることも大きな点です。お道の仲間は、他の学校ではなかなか得難い、将来の貴重な宝となります。

教会長の皆様や、おちばの学校を卒業・修了された皆様は、ぜひとも道の子供たちに、管内学校への進学を積極的に勧めていただきたいと思います。

たいと思います。

○芦津大教会では、管内高校の受験の際に、前日に詰所で試験や面接のポイントを指導したり、受験生同士が親しくなる場を設けています。また、入学後は親睦会、新



受験前日、詰所での説明会の様子

## おちばの高校の特徴

### 天理高校 1 部



「こどもおちばがえり」で演奏する吹奏楽部

天理高校 1 部は、全国大会に出場するクラブも多いことから、お道の教えを知らずに入学する生徒が約 30%おり、おちばにしながら、世間の空気も感じられる学校です。その中で「ようぼくコース」は、信仰の喜びを体得することを目指して、求道や布教活動に取り組んでいます。

### 天理高校 2 部



親里の花の手入れをする農事部花卉班

天理高校 2 部は、修業年限 4 年の定時制課程普通科高校です。教会長子弟が約 75%、さらに「親が 2 部の卒業生」という生徒が約 30%にのびります。全員が日中は天理教本部諸施設でひのきしんに従事。また全員が一れつ会扶育生として育てていただきます。

### 天理教校学園高校



月次祭の境内掛ひのきしん

平成 17 年に、天理教校附属高校と天理教校親里高校とが統合されて発足。全生徒が寮生活を送っています。附属高校の流れから専修科へ進学する者、親里高校の流れから外国語を習得して海外を目指す者など、それぞれの徳分を活かした教育が特徴です。

## 修養科は新しいプログラムに

昨年4月より、**修養科**は新しいプログラムが導入されました。『天理教教典』『教祖伝』、おてふり、ひのきしんといった従来のものに加え、ねりあいやホームルームが導入され、一人ひとりに対して、より細やかな丹精ができるようになりました。また一期講師が担任・副担任制になり、共通の教案を使用するなどの変更や、各詰所の教養掛に対しておてふり勉強会を行うなど、詰所との連携も強化されました。

「ようぼくが育つ場」として充実した3カ月を過ごすため、さまざまな工夫が施されています。一人でも多くの修養科生をおちばへとお連れいただくよう、ご丹精をお願いします。

○芦津大教会では、男女4人の教養掛が常駐して、修養科生の成人をサポートします。また、修了時には大教会で「門出講習会」を開催し、教会になくてはならない人材になれるよう、最後の仕込みをおこないます。



毎朝、修養科生の出発を教養掛が見送り

## 新しくなった修養科

### ①ねりあいの導入

講義の後でポイントを振り返り、理解が深まるように

### ②みかぐらうたとおてふりの授業の連動

みかぐらうたの授業の直後に、その下りのおてふりの授業を行う

### ③ホームルームの実施

各月の振り返りを行い、修了後の生活について考える時間に

### ④担任・副担任制

二人が協力して、よりきめ細やかな丹精を目指す

### ⑤共通の教案の使用

どのクラスも同じ内容の講義を受けることができるように

### ⑥講師研修会の充実

教えを確実に伝えられるよう、さまざまな工夫ができるように

## 忙しい人には三日講習会を

近年は、修養科生が減少していますが、中でも働き盛りと言われる中高年の年代が減っています。3カ月間休みを取るのが難しいのが主な理由ですが、こうした長期間仕事を離れることのできない世代や、子育てに手が離せない方にぜひ受講していただきたいのが「**三日講習会**」です。

三日講習会は、おちばで基本教理とおつとめを学び、自らの人生や信仰のありようを見つめ、積極

的に道を求めるきっかけを持ってもらうためのプログラムです。

受講者からは「生かされている喜びを感じた。神様にお礼と感謝の気持ちを忘れず、日々喜んで、明るくすごしたい」(40代女性)、「おつとめ、おさづけの大切さを知りました。積極的に教会に足を運ぶようになりました」(30代女性)、「自分の気持ちが大きく変わったら周りの人との関係も大きく変わった」(50代男性)など、前向きな感想が多く聞かれる、大変有意義な講習会です。

### 三日講習会①「気づき」

身近にあふれる親神様・教祖のお働きや親心に気づく

### 三日講習会②「深め」

教えの理解を深め 信仰の喜びを深める

### 三日講習会③「広め」

教えや信仰の喜びを周囲の人々に広める



## 「心のふしん」を目指して

やしきハかみのでんぢやで  
まいたるたねハみなはへる  
おぢばに真実を尽くせば、必ずや  
芽生えの喜びを見せていただける。

若者がおぢばへ伏せ込む絶好の  
場が「おやさとふしん青年会ひの  
きしん隊」。やかたをはじめとし  
た親里の整備ひのきしんを通して、  
ぢばに真実の汗を流します。

二代真柱様は、「ひのきしん隊  
は常時の後継者講習会」と仰せく

ださいました。教理を実践し、ぢ  
ばに伏せ込みの汗を流し、共同生  
活によって一手一つを身に付け、  
どんな険しい山坂でもへこたれず  
に通り返ける信念と行動力を培う  
べく、形の普請に先行する「心の  
ふしん」を目指しています。

参加した若者は、「他の大教会  
の青年会員と同じ部屋で過ごし、  
ものすごい刺激になりました」、  
「教えを実践している方の姿を見  
て、自分の足りない部分に気づき  
ました。多くの勇みの種を頂きま

した」、「地元でもひのきしんに励  
みたい」など、伏せ込みの喜びを  
胸に土地所へと戻ります。

16 歳以上の男子なら誰でも参  
加できますので、青年会員の皆様  
はぜひご参加ください。



本部ご用材の木出しひのきしん

## いよいよスタート！ 後継者講習会

### 人生が変わる講習会

8 月末からおぢばで開催される「後継者講習会」。  
20 歳から 40 歳までの、この道を信仰する若者す  
べてが対象となります。

講習会のテーマは「日々の陽気ぐらしの実践」。  
講義やクラスミーティング、感話などを通して、  
教えの基本を学びますが、ただ知識として学ぶの  
ではなく、それぞれが自分の生活の中で教えを実  
践できることを目指します。教会長子弟はもちろん、  
まだ教えをよく知らない方でも無理なく理解  
できる内容で、特に普段あまり意識することのな  
い「心の治め方」に焦点を当て、陽気ぐらしへ向  
かう心の使い方を学びます。おぢばの温かい雰  
囲気に包まれて過ごす特別な 3 日間は、きっと受講  
生の人生にとって貴重な時間となるでしょう。

10 年前の開催時、3 日間の受講の後、布教所  
を後継する心定めをした若者がいました。この「人  
生が変わる講習会」に、まだ受講予定でない方には、  
2 度 3 度と粘り強くお声掛けくださり、対象者が  
一人残らず受講できるよう、ご丹精をよろしくお  
願いします。

### 《基本プログラム》

#### ○1日目

おつとめ 開講式  
クラスミーティング  
感話  
グループタイム



#### ○2日目

講義「日々の身近なところから陽気ぐらし」  
クラスミーティング  
映像鑑賞  
講義「陽気ぐらしの実践」  
感話  
青年会・婦人会アワー

#### ○3日目

講義「たすけ一条の道」  
クラスミーティング  
真柱様お言葉 閉講式

※現在、受講者の次数が決まり、各教会へ通知を  
しておりますが、次数の変更や、新規で受講を  
希望される方がいましたら、芦津大教会担当者・  
いしかわ たけお  
石川健郎 (06-6702-1980) までご連絡を  
お願いします。

## 教会長子弟育成者研修会（各直属開催）

今年3月24日、大教会で「教会長子弟育成者研修会」を開催。この研修会を受け、部内教会を持つ直属教会では、4月～7月にかけて、それぞれの教会で「教会長子弟育成者研修会」を開催しています。

すでに発表された「芦津大教会3カ年の取り組み」に沿って、すべての教会が教会長子弟の育成を重点的に推し進め、10年後、20年後に教会が喜びで溢れる姿になるよう、歩みを進めていきましょう。



大島分教会での開催の様子

### すべての教会に

ご本部より発表された「教会長子弟育成プロジェクト」では、すべての教会長夫妻、後継者夫妻に対して、次代を担う教会長子弟育成の思いを持つことを目的としています。

芦津大教会では、全教会長を一堂に集めることはなかなか困難なことから、「教会長子弟育成者研修会」を3月に大教会で開催し、まずは直属教会長夫妻、後継者夫

妻、直属から選任された担当者を対象に開催しました。その後、部内教会を持つ直属教会は、それぞれで同じ研修会を開催することで、すべての教会におちばの思いを流すことになりました。

### 3年間の計画を立てて

基本プログラムは、ご本部が作成したDVDと、直属教会長のお話。これにねりあいを組み入れる教会も多く、子弟育成についての意見交換を行いました。

また、各教会における「3カ年の取り組み」を立案していただき、その目標に向けて実際に動き出すことを確認しました。



各直属より提出いただいた《3カ年の取り組み》の中には、「若い人が来てもらえる教会を目指す」「大教会各行事へのひのきしんを促す」「8月を家族揃っての参拝強調月と定める」など、それぞれの実情に合わせた育成に取り組んでいます。

CLOSE  
UP!

## 8月の大教会月次祭を 「夏休み教会子弟参拝日」に

**POINT** まずは教会長子弟から、家族揃って参拝を

家族が揃って教会に参拝することは、「縦の伝道」においても大変重要な角目です。信者さん子弟に「家族参拝」を促していくためにも、まずは教会長家族が揃って大教会の月次祭に参拝し、これからの人材育成の機運を盛り上げていきたいと思います。教会長の皆様は、子弟と共にぜひご参拝をお願いします。

※なお、この日の直会（夕づとめ後）には、子供向けのさまざまな催し物も企画しています。





8月9日(水)～15日(火)

## 学生生徒修養会 高校の部

- 場所 本部施設
- 内容 レクチャー、ひのきしん、おてふり・鳴り物練習、グループワーク、感話大会など  
※期間中、別席を1席運べる日を設ける
- 費用 9,000円
- 受講資格 高等学校に在学する者
- 集合 8月9日午前8時30分 芦津詰所集合



8月26日(土)～27日(日)

## 野外練成会 (キャンプ)

- 集合 26日13時 詰所集合  
解散 28日15時 詰所に16時到着予定
- 場所 奈良市青少年野外活動センター
- 内容 飯ごう炊さん、キャンプファイヤー、野外ゲーム、クラフトなど
- 対象 小学4年生～中学3年生
- 定員 50名 (8/23申込締切)



8月15日(火)～16日(水)

## 教会につながる DAY

- 対象 芦津につながる学生
- 内容 グループワーク、懇親会、海水浴  
(水着を忘れずに持参してください)
- 費用 無料
- 集合 8月15日午後2時 芦津詰所集合
- 解散 8月16日午後5時 芦津大教会解散

学生会

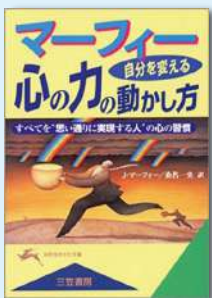
## 学用品リユースのお願い

天理高校や教校学園高校を卒業された方で、制服や学校指定のかばんなど、今後使う予定のない物がございましたら、進学を希望される学生に利用していただきますので、お譲りいただきたいと思います。  
できるだけきれいな状態で、詰所事務所までお届けくださいますよう、よろしくお願いします。

詰所主任

## 人を育てる「座右の書」

人を導くために参考となる書籍を紹介します



●自分を变える心の力の動かし方／J・マーフィー著 ●三笠書房 ●576円(税込)

「子供にとっては、親の生き方こそ最高の教材になります。」

子供は、『親の言う通りにはしないが、親のする通りにはする』からです。」

「子は親を映す鏡」と言われるように、子供は親の行動に影響を受けて育ちます。お道を通るお互いは、我が子だけでなく、身近な人に対しても「良い鏡」でありたいものです。本書は、自分の行動を変えるための、心に力をつける具体的な方法や、特に「祈り」について書かれた大変読みやすい本です。

①親元で育てる ②教会長子弟育成者研修会 (各直属開催)

あしっ 育成だより 3

立教 180年 7月23日発行  
編集 / 天理教芦津大教会育成部